

わくわくスポーツ

平成28年
3月31日

「スポーツは最高！」

副本部長 井岡 俊郎



平成二十七年度は、奈良市のスポーツ少年団が五十周年を迎える年でした。五十年前と言えば東京オリンピックの開催された次の年です。東京オリンピックでは、世界中のアスリートが日本に集まりました。国民は、多くの競技で活躍する世界の選手の姿にあこがれを持ちました。「カッコいいなあ」「自分も世界で活躍する選手になりたい」とスポーツで世界に羽ばたきたいと思う子が増えました。

奈良市でも東京オリンピックの翌年「子どもたちにスポーツの楽しさを！」をスローガンに奈良市スポーツ少年団が設立されました。最初は、野球の団体が中心になっていましたが、徐々に競技が増え加盟団体も増えました。現在では9競技が加入し、81の登録団、団員総数1442名、指導者405名の大きな団体になりました。

この五十年の間に、奈良市の多くのスポーツ少年少女が巣立っていきました。そして、その後もスポーツに関わり活躍した人や、スポーツを指導する立場になり多くのスポーツ少年少女を育てる人、立派な社会人となって人の役に立つ人になりました。

今回、その深い五十年の歴史を記念して特製のクリアファイルを作りました。各団に配布しました。大切に使ってください。

さて、一月三十一日(日)に「第五十回奈良市スポーツ少年団体力づくり大会」のマラソンがありました。いろいろなジャンルの選手が集まって中長距離を「走る」祭典です。信号機の音でスタートしたときの選手達の顔が素晴らしかったです。

『目』がキリッとして「勝つ！」という気持ちにあふれていました。あれぞ、スポーツを愛するものの『目』です。そして、口元を見ると歯を食いしばって「絶対に負けない！」と決意した口元になっています。それは、スポーツを愛するものの『気持ち』です。この素敵な顔は、スポーツをやっている者でないと思えません。スポーツの基本は全力で走ることで、懸命に走ること、体力を養い、精神を鍛えます。そして走ることは「勝つ」経験をさせてくれます。走ることで相手に勝ったり自分の甘い気持ちに勝つたりします。スタートしたときの顔は、そんな素敵な顔でした。

さて、スポーツ少年団で活動する子どもたちは、退団後に人生という長く険しい道を行きます。そして険しい道は、自分の足で超えていかなければなりません。『決して諦めない精神』や『最後まで粘り強くやり通す決意』を強く持つことができ、一人より一歩先んずる人になることができます。スポーツ少年団の少年少女のみなさん、これからはスポーツを愛してください。指導者のみなさん、これからはスポーツを愛する少年少女を育ててください。

スキー教室

松谷 佳奈



一月十五日(金)～十七日(日)の二泊三日で奈良市スポーツ少年団スキー教室が、石川県白山一里野スキー場で開催されました。例年では十二月にオープンしているはずのスキー場が暖冬のため一月に入っても積雪が○センチでスキー教室の開催が危ぶまれましたが、出発の前日にやると寒波が訪れて、ギリギリの判断で開催することができました。

一日目は、旅館に到着後はすぐに就寝で、二日目の朝からさっそくレッスンです。今回の参加者は十名の少人数だったので二、三名に一名の指導者が付くという個人レッスンの感覚でした。しかし、初心者の参加が多く、滑れるようになるまで少し苦労した子どもたちもありました。それでも二日目の朝からのレッスンでは、みんながリフトに乗ってゲベテで滑ってこられるまでに上達しました。さすがに、日頃から各団でそれぞれのスポーツで頑張っている子どもたちです。そんな子どもたちも、レッスンの合間や終わってから、雪遊びや雪合戦で大いに盛り上がっています。

今年、奈良市では積雪がなく、雪で遊ぶ機会がなかく、大変貴重な体験ができたのではないかと思います。今回は参加者が少なかつたことも大きき変わった。しかし、スポーツ少年団で活動し、あり子どもたち一人一人とふれ合うことができ、充実したスキー教室となりました。私自身、初めてスキー教室のお手伝いをさせていただいたのですが、子どもたちから多くのパワーをもらいました。来年は身にもたたくさんの子どもたちに出会えることを楽しみにしています。



奈良市スポーツ少年団五十周年

総務部会長 大西 浩明

私がスポーツ少年団と初めて関わったのは一九七二年、三笠中学校に入学したときからである。男子バレーボール部に入り三年間を過ごした。当時、女子バレーボール部の顧問に吐山真うであり、そういえば夏休みにスポーツ少年団のバレーボール大会にも参加したことがある。しかし、春日中学校などいくつかの中学校も同じように、部活動がスポーツ少年団に登録という形をとっていた時代である。二年生の夏休みに、東京で全国スポーツ少年団大会があるから行かないかと誘われ、スポーツ少年団が何たるかも全く知らずに参加した。代々木のオリンピック記念センターで三泊か四泊の日程で、スポーツ交流をしたり、富士登山にも行ったりした。スポーツ少年団と関わりがなくなった高校に入学して間もなく、「夏に西ドイツに行つてみたいか？」と連絡があった。今も続く日独同時交流が前年から始まり、奈良県はこの年から派遣したいとのことで、全国大会に参加したことがその資格となり声をかけていただいたようである。現在も交流のあるドイツ北部のニーダーザクセン州を、近畿ブロックの約十五名でまわつた。三十二日間、いろいろなスポーツ交流や民泊をしたこともよかったが、一緒に行つた全員の帰国後、自分もリーダーとして活動したいと指導者の先生方に相談に乗っていただき、翌年には奈良市スポーツ少年団リーダー会を、その翌年には奈良県スポーツ少年団リーダー会を結成した。県では、夏に県立野外活動センターで開催される奈良県スポーツ少年大会の運営を朝からのレッスンでは、みんながリフトに乗ってゲベテで滑ってこられるまでに上達しました。さすがに、日頃から各団でそれぞれのスポーツで頑張っている子どもたちです。そんな子どもたちも、レッスンの合間や終わってから、雪遊びや雪合戦で大いに盛り上がっています。今年、奈良市では積雪がなく、雪で遊ぶ機会がなかく、大変貴重な体験ができたのではないかと思います。今回は参加者が少なかつたことも大きき変わった。しかし、スポーツ少年団で活動し、あり子どもたち一人一人とふれ合うことができ、充実したスキー教室となりました。私自身、初めてスキー教室のお手伝いをさせていただいたのですが、子どもたちから多くのパワーをもらいました。来年は身にもたたくさんの子どもたちに出会えることを楽しみにしています。

この五十年で、子どもたちを取り巻く社会状況は大きく変わった。しかし、スポーツ少年団で活動し、あり子どもたち一人一人とふれ合うことができ、充実したスキー教室となりました。私自身、初めてスキー教室のお手伝いをさせていただいたのですが、子どもたちから多くのパワーをもらいました。来年は身にもたたくさんの子どもたちに出会えることを楽しみにしています。



参加者(筆者)のフルト
ランク(参加者)のフルト
1975.7.15～8.16

この五十年で、子どもたちを取り巻く社会状況は大きく変わった。しかし、スポーツ少年団で活動し、あり子どもたち一人一人とふれ合うことができ、充実したスキー教室となりました。私自身、初めてスキー教室のお手伝いをさせていただいたのですが、子どもたちから多くのパワーをもらいました。来年は身にもたたくさんの子どもたちに出会えることを楽しみにしています。

平成二十七年年度 全国・近畿大会派遣一覧

⑨平成二十七年年度近畿ブロックスポーツ少年団剣道交流大会

新規団紹介

奈良東市スポーツ少年団

支部長 浅 芝 春美

野外活動教室

総務部会副部会長 原井 智史

①第二十八回近畿ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会
開催地：山城総合運動公園野球場
参加団：平城

②第三十一回全国小学生陸上競技交流大会
開催地：日産スタジアム
参加団：三碓陸上クラブ

③第二十四回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会
開催地：宇陀市総合体育館
参加者：水谷庵・野口勇哉（登美ヶ丘バドミントン）
松田はづき・柳生麗海菜（鴻ノ池）

④第十四回全国小学生ABCバドミントン大会
開催地：熊本県八代市
参加者：柳生 紗羽海（鴻ノ池）

⑤第三十九回近畿小学生バレーボール大会
開催地：堺市立大浜体育館
参加団：若草ジュニアバレー

⑥第九回全国中学生少林寺拳法大会
開催地：善通寺市民体育館
参加者：矢崎 友萌（少林寺拳法奈良東市）

⑦第十八回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会
開催地：万博記念公園内特設コース
参加団：三碓陸上クラブ

⑧第四十回近畿ミニバスケットボール交歓大会
開催地：府民共催 SUPERアリーナ
参加団：都跡（男子）

開催地：奈良市中央体育館
参加団：団体 鴻ノ池道場・奈良尚武館・奈良西少年剣道クラブ・大和青少年文化研修道場・東登美静流会・奈良二名会・奈良講武会・柳生剣友会

参加者：個人 小角亮輔・秦敦大・伊東凛太郎・西田圭佑・福井眞穂・細田琴里・山本清吾・西口修平・橋本日和・根本沙希・木村優里・上西那智・下垣祐輔・岡本歩美・上田匠一

⑩第三十八回全国スポーツ少年団剣道交流大会
開催地：鹿児島アリーナ
参加者：団体 奈良市選抜チーム
個人 小角亮輔・福井眞穂

⑪第四十七回全国ミニバスケットボール大会
開催地：国立代々木体育館
参加団：辰市ミニバスケットボール（女子）

登録団・団員数
登録団 81団 指導者 405人
団員 1442人
（男1095人・女347人）

奈良東市スポーツ少年団
設立三年目のまだ新しい支部です。少林寺拳法は、自己確立（どんな時も頼れる自分をつくる事）と自他団野外活動教室が開かれました。本年度は児童九十一名、指導者十四名が参加し、二日間で多くの経験をすることができました。

八月二十日（木）から二十一日（金）の二日間、奈良市スポーツ少年野外活動教室が開かれました。本年度は児童九十一名、指導者十四名が参加し、二日間で多くの経験をすることができました。



練習日時は、水曜日（春日公民館）、土曜日（東市小 学校体育館）共に18時30分～21時00分（幼年20時まで）少林寺拳法の支部は、他にもありますのでお近くの支部に一度見学、体験しに来て下さい。お待ちしております。連絡先 TEL 090・8522・6589 浅芝

第50回奈良市スポーツ少年団 体力づくり大会 結果			
平成28年1月31日(日)			
申込数 15団 276名		当日参加者231名	
入賞者一覧			
3年以下男女	氏名	団名	タイム
74名	1 米田 有佑	三碓陸上	5分28秒
	2 小林 尚陽	七条西セブンファイターズ	5分53秒
	3 中川 勲	三碓陸上	6分04秒
4年男子 36名	1 岩本 侑士	三碓陸上	5分26秒
	2 加藤 颯汰	三碓陸上	5分35秒
	3 川下 優空	三碓陸上	5分36秒
5年男子 34名	1 嘉味本 謙信	三碓陸上	5分14秒
	2 大門 晃士	三碓陸上	5分18秒
	3 堀内 碧仁	三碓陸上	5分24秒
6年男子 31名	1 林 克樹	三碓陸上	4分50秒
	2 米田 勇輝	三碓陸上	4分52秒27
	3 川崎 真	三碓陸上	5分52秒52
4年～6年、中学 56名			
4年女子	1 大田 菜	三碓陸上	6分07秒
	2 植田 百香	三碓陸上	6分11秒
	3 貝本 梨瑛	三碓陸上	6分17秒
5年女子	1 松田 万穂	三碓陸上	5分30秒
	2 中西 茉央	三碓陸上	5分54秒
	3 中西 莉央	三碓陸上	5分57秒
6年女子	1 池田 晶帆	三碓陸上	5分18秒
	2 畑木 沙耶	三碓陸上	5分43秒
	3 吉岡 心梨	三碓陸上	5分49秒
中学女子	1 矢崎 友萌	少林寺拳法奈良東市	6分58秒



移動しました。カヌーやボートに乗るグループと、グラウンドでサッカーやドッジボール、キックベースをするグループに分かれて活動しました。初めてカヌーに乗るといっても多かったですもの、すぐに乗りこなして、競争やおにごっこのようなことをする人もいました。二日間、豊富なプログラムを過ごし、パワー全開で最後まで楽しめました。

普段なかなかできない体験をし、友だちが増え、とても良い経験ができた二日間でした。

野外活動センターを出発し、次の活動場所である山添海洋センターへ移動しました。カヌーやボートに乗るグループと、グラウンドでサッカーやドッジボール、キックベースをするグループに分かれて活動しました。初めてカヌーに乗るといっても多かったですもの、すぐに乗りこなして、競争やおにごっこのようなことをする人もいました。二日間、豊富なプログラムを過ごし、パワー全開で最後まで楽しめました。

普段なかなかできない体験をし、友だちが増え、とても良い経験ができた二日間でした。



八月二十日（木）から二十一日（金）の二日間、奈良市スポーツ少年野外活動教室が開かれました。本年度は児童九十一名、指導者十四名が参加し、二日間で多くの経験をすることができました。

一日目は奈良市野外活動センターに行き、入所式をしてさっそくオリエンテーリングへ出かけました。田んぼや川の近くをグループごとに歩きまわり、チェックポイントに設置している問題をグループで考え、楽しそうに答えている姿が印象的でした。汗をかきながら、楽しい時間を過ごすことができました。ゴールしたグループから昼食をとりました。例年ならば近くの川で川遊びをするのですが、今年度は台風の影響で川が増水していたため、近くの体育館へいき、バレーボールやドッジボールをして楽しみました。

夕食はカレー作りをしました。各班で六年生が中心となって役割を決め、協力して調理を行いました。五年生・六年生は各学校で野外活動を経験しているためか、手際よくグループをまとめながらおいしいカレーを作ることが出来ました。自分たちで作ったこともあり、「おいしい」夜は楽しいキャンプファイヤーです。指導者が楽しいゲームをしたり、各班で考えたスタンプを披露したりして、とても盛り上がりました。充実した一日を過ごしたからか、夜はすぐに寝る子が多かったです。

二日目は午前六時三〇分に起床です。起きてすぐに広場に集まり、ラジオ体操で気持ちのいい朝を迎えました。その後朝食をとり、掃除や部屋の片づけをしてドリームキャッチャー作りに取り組みました。丁寧に教えていただき、スムーズに作る事ができました。

野外活動センターを出発し、次の活動場所である山添海洋センターへ移動しました。カヌーやボートに乗るグループと、グラウンドでサッカーやドッジボール、キックベースをするグループに分かれて活動しました。初めてカヌーに乗るといっても多かったですもの、すぐに乗りこなして、競争やおにごっこのようなことをする人もいました。二日間、豊富なプログラムを過ごし、パワー全開で最後まで楽しめました。

普段なかなかできない体験をし、友だちが増え、とても良い経験ができた二日間でした。